

この春、第一志望だった土浦第一高等学校附属中学校に合格することができました。受験勉強の間もピアノを続けてきて、本当に良かったと思っています。

六年生になって勉強が忙しくなると、勉強をすることが辛い時期もありました。しかしピアノを弾くことでリフレッシュすることが出来ました。

土一附中の適性検査対策は、長い文章を読み取ったり自分の考えをまとめたりと、かなり高い集中力が必要です。勉強で行き詰まった時でも、土曜日の夜にレッスンでピアノを集中して弾き終わると、頭の中がすっきりします。

また、ピアノの練習で身についた「反復して取り組む力」は、受験でも大きな武器になりました。なぜなら難しいフレーズを指が覚えるまで何度も練習する根気強さは、苦手科目の克服と同じだったからです。入試本番の試験会場でも、発表会のステージで一音一音を正確に弾く時のような集中力を持って、最後まで落ち着いて問題に向き合うことができました。

中学生になると勉強も部活もさらに忙しくなりますが、これからも週一回のピアノのレッスンを大切にして、ピアノを続けていきたいです。

土浦一高附属中学校 1年

Y. K

---

小学1年生の時に本人の「やりたい!」という一言で始めたピアノですが、日に日に上達する姿を見て、通わせて本当に良かったと感じています。

長く続けられた理由は、「異年齢との交流による刺激」と、「自分の好きな曲を選べる自由さ」があったからだと思います。自分のペースで楽しみながらレベルアップできる環境が、本人の性格にとっても合っていました。

大きな転機は、小学4年生で「中学受験」を自ら決意したことでした。勉強との両立は大変でしたが、ピアノで培った「限られた時間で集中する力」や「計画性」が大きな支えとなり、無事に合格を勝ち取ることができました。受験勉強期間中も、ピアノを弾くことが良い気分転換になっていたようです。

ピアノの技術だけでなく、子供の将来まで親身に考えてくださる久賀谷先生との出会いに心から感謝しています。ここで育んだ自主性と継続力は、これからの人生においても大きな財産になると確信しています。

土浦一高附属中学校 1年

Y. K 母